

基礎数学 I

1

$a_k \geq 0, k = 0, 1, \dots, n$ とし, 多項式 $P(z)$ を

$$P(z) = \sum_{k=0}^n a_k z^k, \quad z \in \mathbf{C}$$

で定義する. また, $z = x + iy$ により, \mathbf{C} と \mathbf{R}^2 とを同一視する. \mathbf{C} 内の半円 C_1, C_2 をそれぞれ次のように定義する.

$$C_1: z = e^{i\theta}, 0 \leq \theta \leq \pi, \quad C_2: z = e^{i\theta}, \pi \leq \theta \leq 2\pi$$

ただし, C_1, C_2 の向きはともに反時計回りとする. $P(z)^2$ に対し, 関数論におけるコーシーの積分定理を用いると, 以下の等式が導かれる.

$$2 \int_{-1}^1 P(x)^2 dx = - \int_{C_1} P(z)^2 dz + \int_{C_2} P(z)^2 dz$$

また, 区間 $[0, 1]$ 上の実数値連続関数 f, g に対して, シュワルツの不等式

$$\int_0^1 f(x)g(x)dx \leq \left(\int_0^1 f(x)^2 dx \right)^{1/2} \left(\int_0^1 g(x)^2 dx \right)^{1/2}$$

の成り立つことは既知とする. 以下の各問に答えよ.

(i) 次の等式を示せ.

$$\int_0^{2\pi} \left| P(e^{i\theta}) \right|^2 d\theta = 2\pi \sum_{k=0}^n a_k^2$$

(ii) 次の不等式を証明せよ.

$$\int_{-1}^1 P(x)^2 dx \leq \pi \sum_{k=0}^n a_k^2$$

(iii) 以下の不等式が成り立つことを示せ.

$$P(1)^2 - P(0)^2 \leq 2 \left(\int_0^1 P'(x)^2 dx \right)^{1/2} \left(\int_0^1 P(x)^2 dx \right)^{1/2}$$

(iv) $a_0 = 0$ として, 次の不等式を証明せよ.

$$\left(\sum_{k=1}^n a_k \right)^4 \leq 4\pi^2 \left(\sum_{k=1}^n a_k^2 \right) \left(\sum_{k=1}^n k^2 a_k^2 \right)$$

(v) $[0, 1]$ 上の実数値連続関数 $f(x)$ に対し, 次の不等式が成り立つことを示せ.

$$\left(\int_0^1 |f(x)| dx \right)^4 \leq 4\pi^2 \left(\int_0^1 |f(x)|^2 dx \right) \left(\int_0^1 x^2 |f(x)|^2 dx \right)$$